

2019.08.06 豊岡地域（港地区除く）

市役所本庁舎 大会議室

# 2019年度 教育懇談会

～ 豊岡の教育の現状と課題について考える ～

豊岡市教育委員会



# 次 第

1. あいさつ
2. 教育委員及び事務局等紹介
3. 国の教育方針
4. 市の取組（とよおか教育プランの取組）
5. 豊岡市の動向、地域の動向（児童数・生徒数等）
6. 少子化による学級編制の状況
7. 意見交換

# 国の教育方針

# 国の教育方針

何を学ぶのか

【主な改善内容】

特別の教科「道徳」

外国語教育の充実

プログラミング教育

など

どのように学ぶのか

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

何を理解したか、  
何ができるようになったか



理解したことや  
できるようになったことを  
どう使うか

# 市の取組

## (とよおか教育プランの取組)

# 市の取組（とよおか教育プランの取組）

## 第3次「とよおか教育プラン」（平成27～31年度）

### □基本理念

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成

### □基本姿勢

子どもの事実に学び、子どもに寄り添うこと

# 豊岡市小中一貫教育

ローカル&グローバル学習の時間

ふるさと  
教育

英語教育

コミュニケーション  
教育

子どもたちの夢実現力を高め、  
小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子の育成

## ふるさと教育

コウノトリって、  
どんな特徴があるのかな



## ふるさと教育



ジオサイトを見学して、  
地形や岩石について  
説明を聞きました。

# 豊岡市の人口動向について

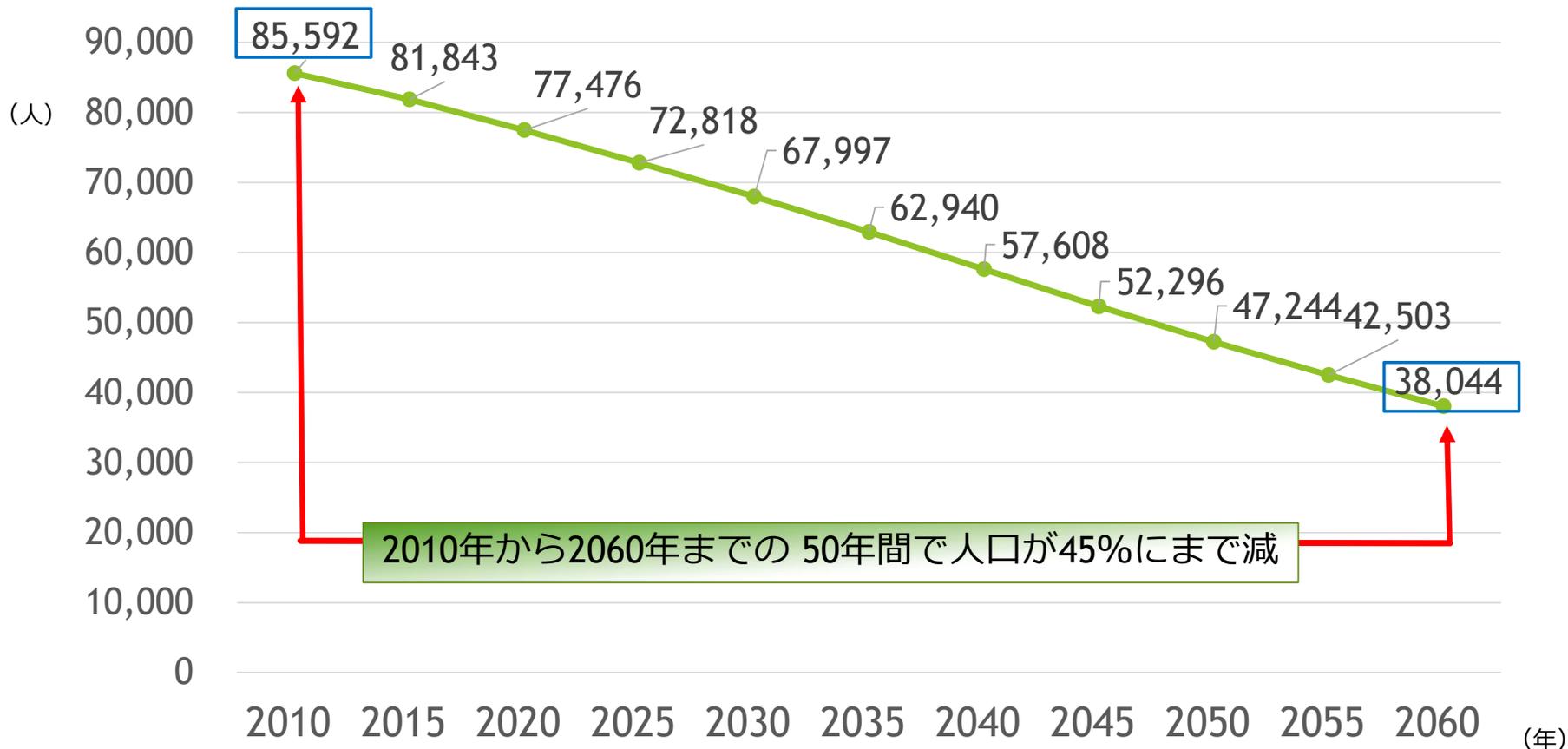
- ・ 豊岡市人口ビジョン資料
  - ・ 住民基本台帳
- 等から



# 豊岡市の総人口の推移と将来推計

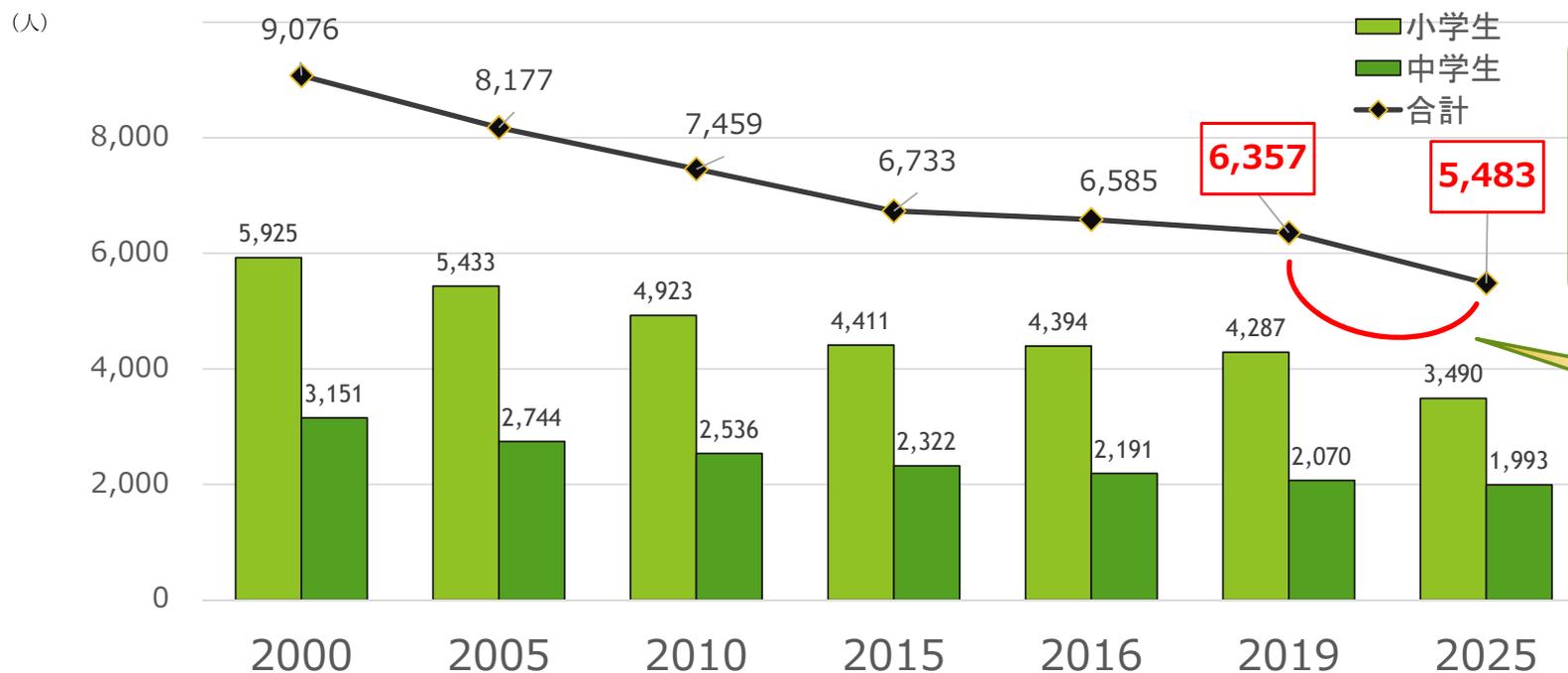
豊岡市人口ビジョンより

総人口の推計と将来推計（2010～2060年）



(出典) 2010年は総務省統計局「国勢調査」、2015年度以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供人口推計ワークシートによる作成した本市基準推計

# 児童・生徒数の推移 (2019年5月1日現在) 兵庫県教育委員会 統計資料 (2019年5月1日現在) より



2000年と2025年を比較すると

- 小学生は2,435人の減
- 中学生は1,158人の減
- 合計 3,593人の減

2019年と2025年の6年間だけでも 874人の減

区分/年	2000	2005	2010	2015	2016	2019	2025
小学生	5,925	5,433	4,923	4,411	4,394	4,287	3,490
中学生※	3,151	2,744	2,536	2,322	2,191	2,070	1,993
合計	9,076	8,177	7,459	6,733	6,585	6,357	5,483

(年度)

※ 中学生は、豊岡市立の中学校に通う生徒。  
2025年度分は、豊岡市住民基本台帳(2019年4月8日現在)を基準とし、うち、中学生は2019年度の市立中学校への就学率をもとに推計したものの。

# 豊岡地域の各学校別学年人数と 今後の見込み

兵庫県教育委員会 統計資料（2019年5月1日現在）  
豊岡市住民基本台帳（2019年4月8日現在）

豊岡地域の各学校別学年人数と今後の見込み

# 各小学校別 児童数

兵庫県教育委員会 統計資料（2019年5月1日現在）より

小学校児童数（単位：人）

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	児童数小計
1 豊岡	58	60	65	78	60	64	385
2 八条	58	56	61	66	61	56	358
3 三江	26	24	33	27	29	37	176
4 田鶴野	28	29	28	31	26	24	166
5 五荘	121	106	142	131	107	118	725
6 新田	35	30	32	27	28	30	182
7 中筋	14	19	14	10	20	20	97
8 奈佐	1	5	8	6	8	8	36
9 港東	10	7	5	9	8	9	48
10 港西	8	7	5	9	6	10	45
11 神美	23	23	24	24	22	30	146
合計	382	366	417	418	375	406	2,364

豊岡地域の各学校別学年人数と今後の見込み

## 各小学校別 児童数 6年後（2025年）の姿

小学校児童数（単位：人）

豊岡市住民基本台帳  
（2019年4月8日現在）より

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	児童数小計
1 豊岡	51	44	58	57	60	60	330
2 八条	44	58	61	52	58	48	321
3 三江	25	21	23	20	22	18	129
4 田鶴野	31	36	29	28	27	23	174
5 五荘	99	115	107	130	118	125	694
6 新田	30	32	29	34	27	36	188
7 中筋	11	10	10	5	11	13	60
8 奈佐	4	4	0	3	1	6	18
9 港東	6	7	7	7	3	7	37
10 港西	3	9	8	11	5	7	43
11 神美	7	17	18	15	22	11	90
合計	311	353	350	362	354	354	2,084

## 豊岡地域児童数 2019年と2025年との比較（豊岡小～新田小）

児童数  
人



## 豊岡地域児童数 2019年と2025年との比較（中筋小～神美小）

児童数  
(人)



豊岡地域の各学校別学年人数と今後の見込み

## 各中学校別 生徒数

兵庫県教育委員会 統計資料（2019年5月1日現在）より

中学校生徒数（単位：人）

学校名		1年生	2年生	3年生	生徒数小計
1	豊岡南	184	175	173	532
2	豊岡北	162	193	165	520
3	港	16	27	14	57
小計		362	395	352	1,109

【参考】

4	城崎	25	18	25	68
5	竹野	29	18	29	76
6	日高東	129	108	113	350
7	日高西	37	38	38	113
8	出石	93	69	100	262
9	但東	31	28	33	92
計		706	674	690	2,070

豊岡地域の各学校別学年人数と今後の見込み

# 各中学校別 生徒数 12年後（2031年）の姿※

中学校生徒数（単位：人）

豊岡市住民基本台帳  
（2019年4月8日現在）より

学校名	1年生	2年生	3年生	生徒数小計
1 豊岡南	131	146	152	429
2 豊岡北	147	164	156	467
3 港	9	16	15	40
小計	287	326	323	936

【参考】

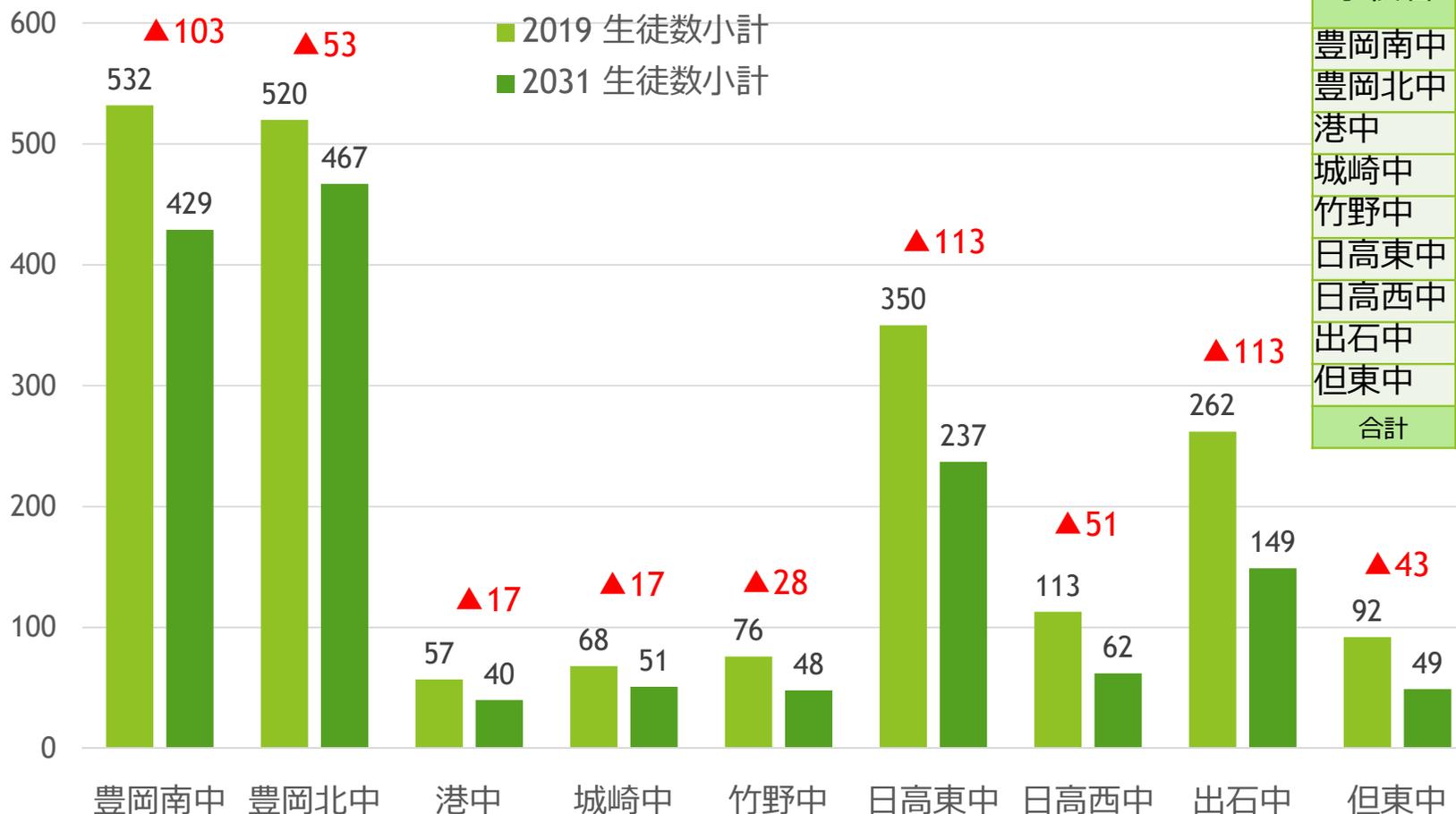
4 城崎	12	17	22	51
5 竹野	11	16	21	48
6 日高東	65	86	86	237
7 日高西	14	21	27	62
8 出石	49	53	47	149
9 但東	19	17	13	49
計	457	536	539	1,532

※ 2019年度の市立中学校への就学率をもとに推計。

豊岡地域の各学校別学年人数と今後の見込み

# 各中学校別 生徒数 2019年と2031年との比較

生徒数  
人



学校名	2019	2031	増減
	生徒数小計	生徒数小計	
豊岡南中	532	429	▲ 103
豊岡北中	520	467	▲ 53
港中	57	40	▲ 17
城崎中	68	51	▲ 17
竹野中	76	48	▲ 28
日高東中	350	237	▲ 113
日高西中	113	62	▲ 51
出石中	262	149	▲ 113
但東中	92	49	▲ 43
合計	2070	1,532	▲ 538

※ 2019年度の市立中学校への就学率をもとに推計。

# 少子化による学級編制の状況

## 学級編制の仕組み

### ○公立学校の学級編制（複式学級）基準（兵庫県の基準）

項 目	小 学 校
複式学級	14人 (第1学年を含む場合は、8人)

### ○適正規模の基準

法令上、学校規模の標準は学級数より設定されており、小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」が標準とされています。

- ⇒ 19学級以上の学校 = 大規模校
- ⇒ 11学級以下の学校 = 小規模校 となります

## 小規模校の状況と今後の見込み

### ◆豊岡市

2019年5月現在

小学校 29校のうち、

標準規模校 3校(豊岡小、八条小、日高小)

大規模校 1校(五荘小(21学級))

小規模校 25校

- ①奈佐小 (36人)
- ②港東小 (48人)
- ③港西小 (45人)
- ④中竹野小 (23人)
- ⑤竹野南小 (25人)
- ⑥八代小 (36人)
- ⑦寺坂小 (30人)
- ⑧高橋小 (29人)

小規模校のうち、児童数50人以下の学校 8校



6年後(2025年)には・・・

**10校に!?**

⑨静修小、⑩小野小 が加わる・・・?

## 複式学級の状況と今後の見込み

### ◆豊岡市

小学校 29校のうち、  
学級編制基準の上では複式学級となる学校  
9校(31%)

2019年5月現在

- ①奈佐小
- ②港東小
- ③港西小
- ④中竹野小
- ⑤竹野南小
- ⑥八代小
- ⑦静修小
- ⑧寺坂小
- ⑨高橋小



6年後(2025年)には・・・

**最大12校(41%)に!?**

⑩小野小、⑪合橋小、⑫資母小が加わる・・・?

少子化による学級編制の状況

# 各小学校別 複式学級の状況

兵庫県教育委員会 統計資料（2019年5月1日現在）より

小学校児童数（単位：人）

複式学級

本来複式となる学級

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	児童数小計
1 豊岡	58	60	65	78	60	64	385
2 八条	58	56	61	66	61	56	358
3 三江	26	24	33	27	29	37	176
4 田鶴野	28	29	28	31	26	24	166
5 五荘	121	106	142	131	107	118	725
6 新田	35	30	32	27	28	30	182
7 中筋	14	19	14	10	20	20	97
8 奈佐	1	5	8	6	8	8	36
9 港東	10	7	5	9	8	9	48
10 港西	8	7	5	9	6	10	45
11 神美	23	23	24	24	22	30	146
合計	382	366	417	418	375	406	2,364

少子化による学級編制の状況

# 各小学校別 複式の状況 6年後（2025年）の姿

小学校児童数（単位：人）

基準上では複式となる学級

豊岡市住民基本台帳  
（2019年4月8日現在）より

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	児童数小計
1 豊岡	51	44	58	57	60	60	330
2 八条	44	58	61	52	58	48	321
3 三江	25	21	23	20	22	18	129
4 田鶴野	31	36	29	28	27	23	174
5 五荘	99	115	107	130	118	125	694
6 新田	30	32	29	34	27	36	188
7 中筋	11	10	10	5	11	13	60
8 奈佐	4	4	0	3	1	6	18
9 港東	6	7	7	7	3	7	37
10 港西	3	9	8	11	5	7	43
11 神美	7	17	18	15	22	11	90
合計	311	353	350	362	354	354	2,084

## 複式学級での授業の様子

教室の前と後ろを使って  
2つの学年が別々に授  
業を行っています



## 複式学級での授業の様子



2年生

3年生

教室の前では、担任の先生と一緒に国語の学習に取り組んでいます。

教室の後ろでは、別の学年の子どもたちが国語の教科書の音読を行っています。

# 小規模校における メリットとデメリット（例）

少子化による学級編制の状況

小規模校のメリット・デメリット（例）

※学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成

## メリット

### 【学習面】

- 児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
- 学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。

### 【生活面】

- 児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。
- 異学年間の縦の交流が生まれやすい。

### 【学校運営面・財政面】

- 全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。
- 学校が一体となって活動しやすい。
- 施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。

### 【その他】

- 保護者や地域社会との連携が図りやすい。

少子化による学級編制の状況

小規模校のメリット・デメリット（例）

※学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成

## デメリット

### 【学習面】

- 集団の中で、**多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。**
- 1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。
- 運動会などの学校行事や音楽活動等の**集団教育活動に制約が生じやすい。**
- 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。
- 児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、**多様な学習・指導形態を取りにくい。**
- 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。

少子化による学級編制の状況

小規模校のメリット・デメリット（例）

※学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成

## デメリット

### 【生活面】

- クラス替えが困難なことなどから、**人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。**
- 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。
- 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。
- 組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。

### 【学校運営面・財政面】

- 教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。
- 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。
- 教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。
- 子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。

### 【その他】

- PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。

## 教育委員学習会での意見交換(2018年8月開催)

### 児童数50人程度以下の小学校長からの意見(課題)

- ◆保護者から人間関係を心配する声もある。保育園時からほぼ同じメンバーで育ってきているため、人間関係が固定化しやすい。生徒、児童だけではなく保護者も同じ。
- ◆小規模校では、一人ひとりに役割があり、活躍の場が多いが、大規模の中学校への入学後は、その機会が得られにくく、ギャップが大きい。
- ◆運動会や音楽活動等の集団で行う活動が成立しない。
- ◆集団の男女の比率に偏りが生じやすい。
- ◆多様な考えに触れる機会がない。

## 小規模校の課題軽減への市の取組

### 小小連携教育

- ・生活・学習集団の**小規模化による教育課題を軽減・緩和**するため複数の学校での**合同で授業や行事を実施する。**
- ・14小学校で6つの連携を実施

- 同じ中学校区の小学校と連携
- 合同で教科学習や行事を実施



1年 生活科合同授業

## 2019年度 小小連携教育実施校と主な実施内容

田鶴野小  
奈佐小

港東小  
港西小

竹野小  
中竹野小  
竹野南小

- コミュニケーション授業
  - 自然学校、修学旅行、合同社会見学
  - 合同生活科、作品交流
  - 中学校体験
- など

八代小  
静修小

福住小  
寺坂小

合橋小  
高橋小  
資母小

※学校によって実施内容は異なります。

# 意見交換

memo